

議会 だより

9月(平成19年度決算)議会でも熱く質問しました。

平成19年度決算議会が9月2日から30日にかけて約1ヶ月行われました。今回は会派を代表して本会議一般質問に立ち、特別委員会第2分科会(保健福祉局、子ども家庭局、建設局、環境局、病院局の決算にかかる質問ができる分科会)の中でも積極的に質問しました。以下のような項目、一部内容です。

本会議一般質問

1 今後の市政経営について

- ・「北九州市経営プラン(素案)」における今後の行財政運営の基本的考え方について
- ・具体的にどのような歳出削減や歳入対策を行おうとしているのか
- ・今後の策定スケジュールについて

2 雇用問題について

- ・ものづくり人材の育成に向けた新たな施策やビジョンについて
- ・本市の外国人研修生や労働者の方の人数の把握について
- ・外国人研修生に関する相談を行う窓口の開設について

3 子育て支援について

- ・近隣セキュリティシステムの導入について
- ・N P(完璧な親なんていらない)プログラムの導入について

4 教育について

- ・児童生徒の長期欠席と不登校の問題について
- ・不登校対策と学力向上の観点からの読書活動の推進、学校図書館の充実について
- ・子どもの家庭での生活習慣と学習習慣の改善と教育の外部活用について

5 まちのにぎわいづくりについて

- ・中川ストリートでイルミネーションの支援などまちのにぎわいづくりについて

6 若松のまちづくりについて

- ・若戸大橋及びコスモス街道から春日交差点にかけての交通渋滞対策についてと新若戸道路の早期完成について
- ・グリーンパークに農業公園を併設し、エコストーションなどの整備について
- ・市立若松病院の早急な医師確保と乳がん、子宮がん検診について



特別委員会での質問

1 保健福祉局

- ・ガンの予防対策について
- ・本市における認知症患者と若年性認知症患者の数と認知症対策について
- ・増大する医療費の抑制効果がある健康づくり事業の実施について
- ・確実水素での自殺のまきぞえを増やさないための広報について
- ・子ども救急ガイドブックの作成と配布について

2 子ども家庭局

- ・家庭保育所の充実について
- ・産後明け保育の予約制について
- ・不良行為少年の行為別補導者数と刑法犯少年の検挙者数の相関関係について
- ・玄海青年の家の改築について

3 環境局

- ・環境に関する市民意識調査の実施について
- ・地球温暖化対策について
- ・庁舎内のエコバッグの普及について
- ・家庭から出される剪定枝の収集について
- ・建物や土地への緑化の助成制度の充実について
- ・CO₂排出量などをわかりやすく表し、市民運動として一人一日のCO₂削減目標を掲げ、ITを利用するなど身近な取り組みを



4 病院局

- ・市立若松病院の早急な医師確保と乳がん、子宮がん検診について

(本会議と特別委員会の主な内容)

- 三 宅) 未だ内科医師が十分に確保ができず、6月以降嘱託医師や他病院からの応援医師での診療を行っており、入院患者の受け入れができない状況が続いている。先日も若松区自治総連合会の呼び掛けによる約45000名の市立若松病院内科医療の存続についての署名が提出されていることも受け、この間の内科医師の確保に向けての取り組みと今後の考え方を尋ねる。

- 病院局) 「若松病院の内科医確保については患者や地域の皆様には不安な思い、またご不便をおかけしていることに対し改めてお詫び申し上げる。この間市長を先頭に大学医局に再三にわたり派遣依頼をお願いし、幅広く一般公募にも取り組んでいる。また、医師確保のベースとなる処遇改善に取り組むなど、多面的な対応を講じている。医師確保の取り組みの中で、最も大きな課題は、指導的医師の不在で、内科の核となる経験豊富な医師を何とか確保したいと全力で取り組んでいる。」(実は数人の医師からの問い合わせはあってはいるものの指導医がいないと自信がないなどの理由から確保できず)

- 三 宅) 指導的医師を他の市立病院の経験豊富な医師を昇格し若松に移動していただいているがどうか?

- 病院局) 医師の移動については派遣先の大学医局への相談が必要で検討する。

- 三 宅) とにかくスピードを上げて取り組んでほしい。



暑いのに冷や冷や ドキドキの夏でした

皆様どのような夏を過ごされましたでしょうか?私は家族の病気が続きかなり冷や冷やドキドキの夏を過ごしました。見一朗はまたまた熱性痙攣を二回もおこしました。その一度目は私が車を運転し、後ろのチャイルドシートに載せている時に痙攣をおこし、すぐに車を止められる場所でなかつたこともあります。どうしてやることもできず、車の中で名前をさけんで左手で足をなでてやることができず、生きた心地がしませんでした。人を呼ぶより早く病院へと駆ける手

で運転し、抱きかかえて病院へ入っていました。二度も続けておこしたので、念のため総合病院で検査をしていただきました。幸い何事もなく安心しましたが、その後、今度はいつも元気いっぱいの母が、突然脳梗塞で急きょ入院との連絡が入り、こちらもドキドキしながら病院へ駆けつけたのでした。こちらも幸い数週間入院し、特に後遺症もなく、今は気をつけながら普段通り生活していますが、やはり若い時から働きづくめで、その上私が選挙で苦労をか

けてしまって改めて申し訳なく思います。これまで家族が元気でいることが当たり前のようになってきましたが、いかにありがたいことなのかとつくづく感じた夏でした。皆様もどうぞお身体ご自愛下さい。

